

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すとれいとばあそんず		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画作成にAIセラピストco-mii(コミー)導入 「はい」「いいえ」で回答するアセスメント結果をAIで診断、150種類以上のメニューの中から客観的に作成します。作成結果について面談、保護者意見の取入れ、情報共有することで完成する	これまでの手書きによる児発管のみで作成される支援計画と違い、過去の全国で実施されている症例をもとに客観的に作成することができる。面談での合意もスムーズに行うことが出来ている。	希望される保護者様には面談の機会を増やし、個別支援計画の内容について個別に精度向上を図っていく
2	・絵本の「サントレ」導入 言葉を通じて子供たちの内面を育んでいく、独自の幼児教育プログラムです。幼少期にたくさんの言葉との出会いを創ることで、心と脳の発達に必要な土台を築きます。	子供固有の特性、進捗状況を考慮し、「座る」「聞く」「読む」「復唱」のボリューム調整を意識的に工夫している また、サントレ専用のノートを作成し、療育の様子・状況を詳しく保護者様へ伝えられるようにしている	サントレを通じて言葉の発達だけではなく、小集団で実施することで、コミュニケーション、人間性、社会性について育てていく教育を実施していく
3	・保護者連絡、情報共有ツールに「ルクミー」導入 保護者様とすとれいとばあそんずのコミュニケーションをスムーズに行い、連絡帳の記入や出欠連絡、お知らせの確認がもっと簡単になる無料のアプリを導入しています。	出来るだけ多くの情報、療育の様子を保護者へ伝えることができるように連絡帳だけでは無く、個別連絡を活用、状況によって写真添付も合わせて実施する工夫を心掛けている。	弊社と保護者様が相互に情報・意見を交わせる場所をつくることでお互いにより安心できる事業所を目指す

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流 弊社療育は3人程度/回の小集団療育を実施しており小集団内の保護者同士の交流はあるが、クラスを飛び越えての保護者交流はイベント開催時のみとなる	近隣にて実施されているプレイパーク、お祭り等のイベントへ積極的に参加しており、子供同士の地域交流はできているが、今後は保護者参加のイベントにも注力していく	各種イベントについて、保護者様の参加を促し交流活性化を図っていく
2			